

参加
無料

ガイド
中村 唯史 先生
(三瓶自然館)

およそ50年ぶり！
ガイドとともに

鬼村鉱山の坑道口に向かいます

令和6年11月30日(土)

雨天時 12月1日(日)



「鬼村鉱山跡フィールドワーク」
～ガイドと鬼村鉱山跡を探索しよう～

9:00～12:00

1. 集合 9:00 「鬼村の鬼岩」 駐車場
2. 服装 長袖、長ズボン、長靴、軍手、帽子
3. 持ち物 飲み物、虫除けスプレーなど



鬼村鉱山は、明治～昭和40年代に開発された、日本有数の石膏(せっこう)鉱山です。江戸時代にはすでに漢方薬として利用されていたと伝わっています。大正7年より、松代鉱山(久利町)とともに、大阪石膏株式会社による本格的な採掘が行われました。

石膏は、ギプス、チョーク、型枠、彫刻など様々な用途に使われますが、一番の用途はセメントの副原料です。鬼村鉱山の石膏は国内でも最高品質を誇り、山口や北九州のセメントメーカーが、こぞってこれを求めました。

大田市産の石膏が、道路、港湾、橋梁、隧道、ダムなどの国内の重要なインフラ整備に使われ、日本の近代化・高度成長を支えたことはあまり知られていません。中村先生のガイドで、いっしょにフィールドワークしませんか？



【申し込み】下記の電話番号、または右の2次元コードから

主催 松代・鬼村鉱山等調査研究協議会

共催 ふるさとおにむらづくり実行委員会

連絡先 090-4653-6361 (なわえ)

